

環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼No.	20	事例No.	17	依頼者	新城市環境政策課	実施場所	新城文化広場 文化会館
実施対象	新城市内在住の市民、新城市環境基本計画策定委員（公募委員）40名						
実施日時	平成30年10月20日（土）13時30分～15時30分（2時間）						
テーマ	身近な事例（気温上昇や台風の異常発生、短時間の大雨など）を紹介しながら、わかりやすく地球温暖化や気候変動について知る。						

●依頼内容

気候変動や地球温暖化について話が出来る講師の紹介をしてほしい。

●講師：気象予報士 早川敦子氏

気象予報士の資格を取得以降、地球温暖化や環境問題をテーマにした講演会、小学校への出前授業なども行う。現在は名古屋文化短期大学専任講師、中京大学非常勤講師として「人前で話す技術」や「コミュニケーション」についての講義を行っており、一般の方に気候変動等をわかりやすく話のできる講師。

●授業の内容

座学	身近な地域の気候変動	気候変動の導入部として、新城市あるいは名古屋市における今年の夏の暑さに関する記録などを紹介しながら、気候変動について紹介しました。	30分
	地球温暖化とは	CO2の排出量等に起因して、地球温暖化が進んでいることをグラフ等により紹介しました。また、最近の雨の降り方、台風の変化等にも触れながら、温暖化の影響に関してわかりやすく説明しました。	45分
	温暖化の影響と緩和策及び適応策 質疑応答	緩和策及び適応策の説明に先立ち、IPCCの予測を紹介しながら、気温上昇の原因とされる温室効果ガスの削減が必要なことを実験を交えながら理解を促し、具体的な行動の必要性について説明しました。さらに、身近な気象現象に関する警報、注意報等を紹介しながら、自分自身で身を守るための行動指針等を紹介しました。	45分

●授業の様子

最近の猛暑等についてのグラフや表を使った説明、身近な地域の暑さの記録更新状況等の紹介など、参加者にとって興味深く、身近に感じる内容でした。一般市民や環境基本計画策定委員などの参加者は、気候変動等が身近な気象現象にも大きく影響することへの理解を深め、気象災害に対する意識を高めたようでした。講座終了後の質疑応答も積極的に行われ、講座の内容について興味を深めることができたようでした。

講座の様子①



講座の様子②

